

各界の談話
維新・馬場代表 暴言に批判

維新の本質を見抜いて

ジャーナリスト 大谷昭宏さん



議論する相手を抹殺するや
り方は戦争のやり方と同じで
す。共産党＝暴力政党とい
てはいます。維新の共産党攻撃

はとんでもないものです。

大阪で維新の本質を身近に
感じてきました。維新を根底
で支えてるのは三つ。(1)あ
くば野党第一党になり、野党
の(3)悪目立ちです。あわよ

ういうよりは自民党にすり寄
り、「第2自民党」として權
力者からの餌を投げてもらいた
い。おかげにあづかりたい
との下心があります。

そして自民党や公明党、政

権与党が最もやりたい、共産
党攻撃を代わりにやって、權
力者のいいたいことを代弁し
てやっていると悪目立ちして
いるのです。

維新の共産党への誹謗中傷
は許しがたいのですが、こ
とで分かりました。▼関連の面
事で分かりました。火箱芳文元陸上幕僚長は「日
本の憲吹」8月号の「国家の慰
靈追憶施設としての靖国神社の
復活を願う」と題する記事で、
軍事力の抜本的強化を図る安保
3文書の閣議決定を「大いに評
価」しつつ、自衛隊は国内法的
には軍隊ではなく、「旧軍人と

与党にも野党にも票を入れた
新の作戦を暴露して、眞の民
主主義政党として共産党が自
らの立ち位置をアピールして
ほしいです。

「自衛官戦死に備えよ」

元陸幕長 靖国神社「復活」唱える

陸上自衛隊の元制服組トップ

自衛官では國家の処遇、国民の
施設としての靖国神社を復活

が、自衛官の戦死に備えて靖國
神社を国家の「慰靈顕彰施設」

として「復活」させよと公然と
主張していることが、改憲右翼

団体「日本會議」の出版物の記
事で分かりました。↓関連の面

火箱芳文元陸上幕僚長は「日
本の憲吹」8月号の「国家の慰

靈追憶施設としての靖国神社の
復活を願う」と題する記事で、
軍事力の抜本的強化を図る安保

3文書の閣議決定を「大いに評
価」しつつ、自衛隊は国内法的

には軍隊ではなく、「旧軍人と

は否定できない。我が国は一命
を擲げる覚悟のある自衛官たち

の処遇にどう応えるつもりなの
か」と問い合わせています。

その上で、戦後、「靖国問題」
が放置されているのは「誠に残
念」だとしつつ、「國家の慰靈

顕彰施設」がない現状を嘆き、
自衛官が「戦死」した場合、「筆

念」だとしつつ、「國家の慰靈

顕彰施設」がない現状を嘆き、
自衛官が「戦死」した場合、「筆

頭の下に「死地」や「死地」等と

の指揮下で相手国を攻撃する

軍事力の抜本的強化を図る安保

3文書の閣議決定を「大いに評
価」しつつ、自衛隊は国内法的

には軍隊ではなく、「旧軍人と

が放棄されているのは「誠に残
念」だとしつつ、「國家の慰靈

頭の下に「死地」や「死地」等と

の指揮下で相手国を攻撃する

軍事力の抜本的強化を図る安保

3文書の閣議決定を「大いに評
価」しつつ、自衛隊は国内法的



「日本共産党の百年」現在の政治に直結する内容

党史「日本共産党の百
多い」と評価していま
す。

コラムは、日本共産党
付コラム「政界地獄」
の志位和夫委員長が25日
は、「共産党100年

小泉進次郎県連会長は
6月、神奈川18区の支部
長に選ばれています。
本明広。統一教会の支援
なしで当選できるとは思
えないが…」と投稿しま
した。

時間がたてば国民党は忘
れる。そうした思惑が透
けたからこそ、総選挙に
向けて、再び国民の怒りが
沸騰しています。(か)

スポーツ紙コラムで紹介

『優生保護法』改定に賛成したことによりました

成したことによりました
た」と叙述したことによ
り、「再度検証し是正し
て」と紹介しています。

最後に、この間の日本

維新の会の馬場伸幸代表

の発言にも言及し、「党

勢拡大の勢いで共産党を

「日本からなくなったら
いい政党」と言い放った
が、この歴史と存在を否
定する権利はない」と批
判しています。